



市指定名勝

香良洲公園

香良洲地域の東に広がる海岸は香良洲浦と呼ばれ、明治40年の『三重案内記』には、「白砂青松・風光絶佳にして明石にゆずらず伊勢湾風景第一の地」と絶賛されています。

一帯はかつて香良洲神社の土地でしたが、明治22年に旧矢野村の管理となり、大正14年に香良洲公園となりました。そして、昭和26年には香良洲公園を含む香良洲浦一帯が伊勢の海県立自然公園の指定を受けています。

香良洲公園とその付近には防風林・防砂林として松が植えられています。人々の暮らしを守るとともに、公園内にはかつてその姿形や伝承から「恵美寿松」^{えべすまつ}「五百枝松」^{よいほのえだまつ}「八王子松」^{はちおうじまつ}などと名付けられ親しまれた名木もありました。

今も残る数多くの老松からなる美しい景観は、市の名勝に指定されています。

近年は松くい虫の影響で枯れる松も多く、現在はその数約200本と減りつつありますが、市内に残る少ない景勝地として守り継いでいきたいものです。

(「広報津」平成21年12月1日号)

